

シンポジウム 「超高齢社会のなかで ACP (アドバンス・ケア・プランニング) を考える」

■日時：2017年7月23日 (日) 13:00~17:00

■会場：大阪大学中之島センター 講義室 406 (定員 72名)
大阪市北区中之島 4-3-53 <http://www.onc.osaka-u.ac.jp/>

■シンポジスト

1) 伊藤 大樹 (医療法人あおばクリニック・医師)

「意思決定支援に必要な基礎知識」

2) 浜渦 辰二 (大阪大学教授・臨床哲学)

「事前指示と事前ケア計画の比較」

3) 藤本 啓子 (患者のウエル・リビングを考える会)

「患者の視点からACPを考える」



司会：堀江 剛 (大阪大学教授・臨床哲学)

進行：林 道也 (<ケア>を考える会)

■シンポジウムの趣旨：▼ACP(アドバンス・ケア・プランニング)とは、治療方針などの医療決定に際して医療者が事前に患者・家族と話し合い、意思決定を支援するためのものです。近年、医療決定に際して患者・家族の意向をできるだけ尊重すべく、ACPの推進とガイドラインづくりが検討されています。▼意思確認ができない患者(特に認知症患者や高齢者)に対して、どのような医療や介護を提供できるのか。これは医療者や介護者にとって重要な課題であり、またそこに様々な迷いや悩みも生じます。患者・家族に最善のケアを提供するため、患者の意思決定の時点から支援ができるのではないかと。ACPの背景には、このような思いがあります。▼そこで今回は、医療者・研究者・患者の三つ立場からACPについてお話しをしていただき、それをもとに参加者の皆様と「意思決定」について考えていきたいと思います。



■参加費：無料

■お問い合わせ・参加申し込み……参加予約が必要ではがき又はメールでお申し込みください

(氏名、TEL、FAX、メールアドレスを明記)

定員になり次第締め切ります。

満席となりお断りする場合にはのみ、連絡いたします。

〒560-8532 豊中市待兼山町1番5号

大阪大学文学研究科 浜渦研究室気付

「ケアの臨床哲学」研究会 宛

E-mail : yoshinokumano@gmail.com

<http://www.let.osaka-u.ac.jp/~cpshama/clph-care/clph-care.htm>

共催：・患者のウエル・リビングを考える会(神戸) http://www.geocities.jp/well_living_cafe/

・<ケア>を考える会(京都/岡山) <http://care-kyoto.jimdo.com/>

・からほりさろん(大阪) <http://odekake-karahori.com/salon/>

・合同会社医療介護連携研究所・ぼちぼちいこ会(大阪) <http://iryorenkeikenkyujo.hp.gogo.jp/sp/free7.htm>